

様式2(学融合レクチャーシラバス)	記載欄 ※申請時は日本語のみの記載で構いません。
授業名	太陽系の科学:南極隕石と惑星探査から探る46億年の歴史
Lecture title	
単位数	1
Credit	
担当教員	学融合推進センター・助教・小松睦美 * 極域科学専攻・准教授・山口亮 宇宙科学専攻・准教授・安部正真 極域科学専攻・助教・今栄直也 宇宙科学専攻・助教・春山純一 学融合推進センター・特任准教授・七田麻美子 東京大学大学院理学系研究科・准教授・三河内岳
Instructors	
授業概要	2010年にJAXA「はやぶさ」探査機が小惑星物質のサンプルリターンに成功し、さらに2015年には「はやぶさ2」の打ち上げが成功し、大きな話題になった。また日本は、活発な南極探査を実施し世界有数の隕石保有数とキュレーション設備を有している。しかしながら、これらの探査から「何が分かったのか？そして何が分からないのか？」についてどれだけの理解がされているだろうか。本講義では、太陽系の科学について、南極探査と惑星探査の最前線で活躍する研究者がそれぞれの分野の最先端の成果について紹介する。
Course content	
教育目標・目的	* 太陽系の歴史について説明することができるようになる * 太陽系の研究の目的・手法を理解し、説明することができるようになる * 太陽系の研究と他分野との関わりについて理解し、説明することができるようになる
Learning outcome and objectives	
成績評価	* 事前課題10% * 演習での活動50% * 最終レポート40%
Grading policy and criteria	
授業計画	平成29年9月7日(木)―平成29年9月8日(金) 講義と演習 1日目「南極隕石からの科学的成果と手法を学ぶ」 ・ガイダンス ・南極隕石と隕石 ・南極隕石キュレーションと太陽系惑星の進化 ・極地研究所ラボ見学・惑星科学演習 ・太陽系に関するワークショップ 2日目「惑星探査からの科学的成果と手法を学ぶ」 ・太陽系探査について―月・火星・彗星― ・太陽系小天体の地上観測と探査機を用いた惑星科学 ・JAXA宇宙科学研究所見学・実習
Schedule	
実施場所	国立極地研究所・JAXA宇宙科学研究所
Location	
使用言語	日本語
Language	
備考	・ キーワード: 宇宙, 太陽系, 南極, 探査 ・ 他大学学生の受講可 ・ 本講義は2日間の宿泊を伴う集中講義として開講される
Remarks	
対象年次	1,2,3,4,5

教科書・参考図書	特に無し
Text and suggested readings	